

<建設業会計 1級（財務諸表）ミニテスト 19> 固定資産の減損会計

【問題】

次の問に答えなさい。

問1 次の前提条件の下で、減損損失の認識に関する判定を行いなさい。

<前提条件>

ある製造会社の工場において使用している機械Xについて、関係するデータは次の通りである。

- ① 機械Xにより製造される製品について、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなる見込みである。
- ② 機械Xの帳簿価額 800
- ③ 機械X（経済的残存使用年数5年）から得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額 750
- ④ 機械Xから得られる割引後将来キャッシュ・フローの総額 700

問2 上記の①～④に加えて次のデータ⑤が明らかになったとして、減損損失の測定を行いなさい。

- ⑤ 機械Xの正味売却価額 600

【解答】

問1

減損の兆候の有無

①により減損の兆候ありと判定される。

減損損失の認識の要否

③の750が②の800を下回るので、現存損失の認識が必要と判断される。

問2

減損損失の測定

帳簿価額 800—回収可能価額 700＝減損損失 100

帳簿価額：①800

回収可能価額：正味売却価額と使用価値のいずれか高いほうの金額④700